

中学校 社会科

1 改訂の趣旨及び要点

目標の改善

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な**公民としての資質・能力**の基礎を次のとおり育成することを目指す。

知識・技能の習得

我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係などに関して理解するとともに、調査や諸資料から**様々な情報を効果的に調べまとめる技能**を身に付けるようにする。

思考力・判断力・表現力等の育成

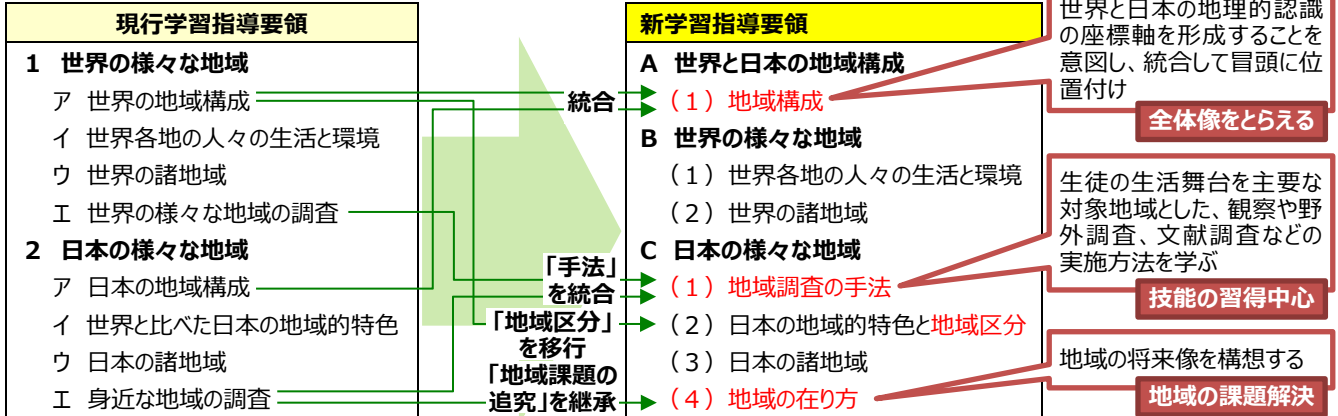
社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を**多面的・多角的に考察**したり、社会に見られる課題の解決に向けて**選択・判断**したりする力、思考・判断したことを**説明**したり、それらを基に**議論**したりする力を養う。

学びに向かう力・人間性等の涵養

社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に**課題を主体的に解決しようとする態度**を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される**我が国の国土や歴史に対する愛情**、国民主権を担う公民として、**自国を愛し**、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての**自覚**などを深める。

内容構成の改善

【**地理的分野**】 内容構成が大きく変わっています。



【**歴史的分野**】については、他分野と同様、大項目が置かれました。【**公民的分野**】は特に変更ありません。

学習内容の改善・充実

将来につながる現代的な諸課題を踏まえて教育内容の見直しが図られました。

地理的分野	「世界の諸地域の学習」において、地球規模の課題等を主題として取り上げた学習を充実させるとともに、防災・安全教育に関して空間情報に基づく危険の予測に関する指導を充実させる
歴史的分野	我が国の歴史的事象に間接的な影響を与えた世界の歴史の学習についても充実させるとともに、民主政治の来歴や人権思想の広がりなどの動きを取り上げる
公民的分野	防災情報の発信・活用に関する指導、情報化など知識基盤社会化による産業や社会の構造的な変化やその中での起業に関する扱い、選挙権年齢引き下げに伴う政治参加等に関する指導を充実させる

